

研究機関：広島大学

研究課題名	本邦における角膜移植の適応と術式の現状
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 准教授 近間 泰一郎
研究期間	2021年9月22日 ~ 2024年9月30日
対象者	2017年1月から2019年12月の間に、広島大学病院眼科で角膜移植を受けられた患者。
意義・目的	角膜移植の術式、適応、合併症、治療成績等について全国的な調査を行い、日本人の眼に対する最適な術式選択を明らかにし、現行の治療方法の改善を目指します。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、原疾患、術前矯正視力、角膜移植術式、術中・術後合併症、拒絶反応の有無などです。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	大阪大学医学部附属病院 東京歯科大学市川総合病院 京都府立医科大学附属病院 金沢大学附属病院 国際医療福祉大学成田病院 大阪大学に情報を集め大阪大学大学院医学系研究科脳神経感覚器外科学（眼科学）（解析責任者 相馬剛至）が解析します。
試料・情報の管理責任者	大阪大学大学院医学系研究科脳神経感覚器外科学（眼科学） 教授 西田幸二
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5246 広島大学病院眼科 助教 福戸 敦彦